

2020年1月吉日
株式会社日本医療通訳サービス

新潟県 病院局と「遠隔医療通訳」の実証実験を実施いたします

～ 新潟県内 14 病院に遠隔医療通訳サービス『Medi-Call®』を提供 ～

株式会社日本医療通訳サービス(本社：大阪府大阪市、代表取締役：大倉輝久 <https://www.jmis.co.jp>)は、新潟県 病院局と提携し、「遠隔医療通訳サービス」の利用に関する実証実験を行う運びとなりましたのでお知らせいたします。

[実証実験の目的]

新潟県は近年、冬季にウィンタースポーツを目的とする外国人観光客が増加しており、スポーツ中の怪我等で病院を訪ねる外国人が増加傾向にあります。また、2020年2月には「Audi FIS アルペンスキーワールドカップ 2020 にいがた湯沢苗場大会」も控えています。

中山間地の病院は医師不足が深刻であり、言語が通じない状態での外国人対応で医師に一層の負担がかかっている現状です。その他、中小病院においても、職員数に対して多数の外国人の来院があり、医師のみならず、医療従事者全体の負担軽減等がひとつの課題とされる状況です。

そのため、当実証実験は、テレビ電話及び電話を介した遠隔医療通訳サービス『Medi-Call®』を、急性期病院を中心とした外国人の来院が多い病院に提供することで、外国人患者対応に関する環境を整備するとともに、医療従事者の負担を軽減させることを目的といたします。

[実証実験の概要]

参 画：新潟県内の急性期病院を中心とした 14 施設

期 間：2020年1月14日（火）8:30 ～2020年3月13日（金）18:30

時 間：電話通訳は平日 8:30～18:30

テレビ電話通訳は 24 時間

言 語：電話通訳は英語・中国語・韓国語

テレビ電話通訳は英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語

[Medi-Call®の特徴]

『Medi-Call®』はテレビ電話を介して医療通訳を提供する「遠隔医療通訳サービス」です。

サービスは情報セキュリティ対策を講じたコールセンターより提供し、通訳は主に専門的な教育を済ませた医療通訳者が行います。

そのため、通訳の提供範囲は医療機関の受付や会計のみならず、診察・検査・手術などの専門性の高い領域を含み、医療機関のあらゆるシーンに対応しています。

webRTCを導入しているため、通訳専用機器を準備する必要がなく、既にタブレットなどカメラ・マイク付の端末（インターネット接続必須）をお持ちの場合には活用いただくことが可能です。

TV 電話のみならず固定電話や携帯電話を介した音声のみの対応も承ります。

医療機関の中で専門的な会話ができる遠隔通訳サービス、それが『Medi-Call®』です。

[ご参考]

当社は医療通訳者による遠隔医療通訳事業や医療通訳者養成講座の運営を行うなど、医療通訳市場の成長と発展に取り組む、医療通訳業界のリーディングカンパニーです。

[会社概要]

商 号：株式会社日本医療通訳サービス

代 表 者：代表取締役 大倉 輝久

所 在 地：〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋 4-3-22

設 立：2015年10月

事業内容：遠隔医療通訳事業・医療通訳者養成事業・医療通訳者採用支援事業・多言語翻訳事業

資 本 金：50,000 千円

U R L：<https://www.jmis.co.jp>

当プレスリリースにご興味のある方は、下記よりお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

株式会社日本医療通訳サービス 実証実験事務局

☎：06-6210-5289

✉：info@jmis.co.jp